



N043 担当：本田 尾崎
2018 November

11月3日「悠飛祭」開催！

日本総合教育専門学校の第12回目となる学園祭「悠飛祭」がいよいよ11月3日(土・祝)に開催されます。目前に迫った学園祭、学生たちは連日急ピッチで準備を進めています。何カ月も前から準備を始める中で、時には仲間同士で意見が食い違ったり、悩んだりもしていましたが、一つずつ問題を解決しながら準備を進めてきました。

今年の学園祭のテーマは「わ」。その名の通り、学生全員が一致団結して作り上げる学園祭となっております。本校の学園祭には毎年たくさんのお子様たちが遊びに来られます。幼児教育を学ぶ学生たちは子どもたちが大好きです！今年も音楽が溢れるステージ発表やゲーム、キッズルームを用意して子どもたちが来てくれるのを楽しみに待っています！他にも、様々なイベントを予定しておりますので、是非お誘いあわせの上、お越しください！

また、今年もたくさんの企業や個人の皆様に協賛をいただきました。ありがとうございました。

(実行委員長より一言)

実行委員長の渡邊舞さんは、各部門の総指揮をとり学園祭の成功のため、日々頑張っています！



頑張ります！



人権4コマ漫画佳作おめでとう！

高木校長の「人権教育」の授業で、両学科1年生が熊本県主催「人権啓発に関する4コマ漫画」に応募しました。どれもすばらしい作品ばかりでしたが、その中から福守将凡君の作品が1054作品の中から佳作に選ばれました。

作品のタイトルは「特徴」、作品に込めた想いは「人それぞれに得意、不得意があり、それを嘲笑うのではなく、得意なことを認め褒め、伸ばすことが大事」とのことでした。福守くんとみんなの作品は102教室に掲示してありますので、是非見てみてくださいね！

大俵まつりに出場します！

玉名市の恒例行事「第二十二回大俵まつり」に今年も学生たちが出場します。重さ1トンにもなる大俵ころがし部門と、重さ200キロの小俵ころがしレディースの部に出場予定です。これからイメージトレーニングと気合で頑張ります！開催は11月23日(勤労感謝の日)です。玉名のお祭りを楽しみながら、学生たちの応援を宜しくお願いします！



実習風景！

10月は幼児教育学科3年生の保育実習、こども2年生の発展実習、こども3年生・幼児教育学科4年生の応用実習、こども学科1年生の基礎実習が実施され、みんなそれぞれのステージで日頃の成果を発揮していました。現場での実習の様子の一部をご覧ください！みんな笑顔で積極的に子どもたちと触れ合っていますね！



11月の行事予定

- 11月2日(金) 悠飛祭準備
- 11月3日(土) 悠飛祭 第9回オープンキャンパス
- 11月5日(月) 悠飛祭片付け
- 11月12日(月) 教育実習 I・II (26日まで)
- 11月13日(火) レポート締切
- 11月17日(土) 科目終了試験 第10回オープンキャンパス
- 11月21日(水) 第4回入学選考試験願書締切
- 11月25日(日) 第4回入学選考試験

庶務・会計より

◆奨学金(日本学生支援機構)

卒業学年の奨学生は返還に関する書類が届いていますので後日、説明会を行う予定です。

日程は決まり次第連絡します。



自己主張

文責 高木

私が、あらゆるスポーツの中で最も敬愛している選手は、元NBAプロバスケットボールプレイヤーのMジョーダンである。敬愛するというより熱狂的ファンといった方が正しいかもしれない。そのプレーもプレイスタイルもウェアもシューズも生き方も、未だに多くのスポーツ選手に影響を与えている。15年間のプロ選手生活で1試合の平均得点は30点を超え、NBA歴代1位、得点王10回、通算得点は3万2千点を超えている。

そんなジョーダンでも、若い頃はヘッドコーチからレギュラーを外された経験がある。ヘッドコーチ曰く、ジョーダンを外す理由をチームの選手達に、次のように説明した。「TEAMという単語の綴りにI(自分)はない」正しくジョーダンのワンマンチームからの脱却と若いジョーダンのワンマンプレーを戒めたのだろう。自己主張の強いプロ選手でも、この説明には納得。しかし、ジョーダン本人は違っていた。ジョーダン曰く「TEAMの中にIはなくともWINのなかにはI(自分)がある」勝利を掴むためには私が必要だというジョーダンの自己主張である。ジョーダンにまたまたしびれる。たまらなく格好いい。

私は、学生募集で色々な高校を訪問して、最近の高校生は「真面目でおとなしく、個性的な生徒が少ない」と感じる人が多い。このことは現場の先生方も同じように捉えておられるようだ。自己主張は時にわがままにも見えたりもするが、ネットやゲームの世界に収まっているより、荒削りだけれど個性的であることに魅力を感じる。